



No.136
発行日:2023年2月20日

神奈川ネット 大和市民会議

1. 政治への参加をひろげます
2. 生活者の政治をすすめます
3. 市民民主主義をそだてます

1. キャンパとボランティアで選挙をおこないます
2. 活動を広く公開します
3. 政治への寄付をひろげます
4. へんだなと思ったらミニフォーラムを開きます
5. 議員は2期8年で交代します



高齢者が安心して外出できるまちづくりをすすめます

力を注ぎます！

- ・ 高齢者
- ・ 子ども
- ・ 障がい児者
- ・ 環境
- ・ 食の安全施策

吉田なな

よしだ なな

神奈川ネットは吉田ななを公認決定しました

プロフィール

- 1970 横浜市生まれ/県立厚木東高校、神田外語学院国際ガイド科卒業
- 1991 ミノルタカメラ（現コニカミノルタ）入社
- 2008 大和市に転居/生活クラブ加入
- 生活クラブ大和コモンズ環境委員・広報委員長、林間小学校PTA委員
- 2016 神奈川ネット大和市民会議運営委員
対話による美術鑑賞 アートシャベルボランティア
- 2017 しらかしのいえボランティアメンバー
- 2018 ピピみんなの保育園勤務
- 2019 神奈川ネット大和市民会議副代表・保育士資格取得
- 趣味：陶芸、無水鍋料理、アウトドア、テニス、ヨガ
- 下鶴間在住 ●家族：夫と子ども2人、熱帯魚

吉田ななの
ホームページは
こちらから↓



高齢者 政策

2021年3月に出された「第8期 高齢者保健福祉計画」によると、大和市の65歳以上の高齢者数は、全国平均より少ない約24%ですが、団塊の世代が75歳を迎える2025年以降、高齢化率は上がり続けると予想されます。

神奈川ネットは今まで、福祉有償運送のNPOを市民と共に作り出したり、道にベンチを設置する提案を行うなど、高齢者が安心して外出できるまちづくりをすすめてきました。しかし、ケアする側の市民も高齢化が進み、新たな人材確保が難しい状況が続いています。

自治体ができる対策として、市の事業計画に住民主体の訪問型サービスや移動支援の取り組みを入れ、地域支えあい方型の認定ドライバー養成研修を市で行うなど、市民が高齢者を支えあう仕組みづくりを提案してまいります。また、人と会うことが元気に生きる源であることから、食事もできる多様な居場所づくりについても提案してまいります。

- 介護予防をかねた多様な居場所を創出します。
- 高齢者のための食の確保への取り組みをすすめます。
- 安心して道を歩くことができるよう、道にベンチを設置するよう、引き続き働きかけます。

高齢になっても住み慣れた家で暮らしたい方にとっては、訪問通所サービスの充実が必要です。買い物や家事支援、外出支援など、安心して利用できる制度があれば、高齢者も家族も安心して暮らすことが可能です。



- 住み慣れた地域で安心して暮らせるしくみを作ります。



吉田ななのメッセージ

他市に暮らしている私の両親も年を重ね、日常生活はある程度出来るものの、少し離れたところへの移動については助けを必要としています。父は高齢になり免許を返納し、母は足が痛くなってバスに乗れなくなりました。為に通院や買い物の際は、私と妹で交代しながら送迎し付き添っています。

大和市の高齢者へのアンケートからも同じように移動手段で困っているという声が多く聞かれます。今後は、コミュニティバスの利便性を高めると共に、停留所にベンチを設けるなどして、高齢者の方が使いやすくなることが求められています。有償ボランティアの側面支援などを含めて移動しやすいまちづくりを提案していきます。

また高齢者と子どもが一緒に過ごせる場所があったらいいのという声も

聞きます。私の働いていた保育園の関連施設には、デイサービスと小規模保育事業の保育室を併設する複合施設があります。高齢者の方が体操したり折り紙などをする向こう側で、子どもたちが遊んだり歌ったりしています。別々に行動したり、時には一緒に過ごしたりできる場があります。子どもたちに刺激を受け、高齢者の方も生き生きと活動しています。また子どもたちも優しい声かけやふれあいによって癒され、双方にとっていい効果が生まれています。年齢や国籍を問わず交流できる居場所を増やし、地域で支えあう仕組みづくりを提案していきます。